

令和7年

総食浸透り







新学期が始まり、早くも1ヶ月がたちました。子どもたちも新しい環境に少しづつ慣れてきたことでしょう。しかし、疲れもたまってきている時期でもあります。また、ゴールデンウイー1明けは生活リズムがくずれがち。早寝・早起き・朝ごはんの規則正しい生活を心がけ、体と心に元気を補給しましょう。

















たべもの豆知識

5 月 5 白は 「こどもの白」 (端午の節句) です。

💠 ちまき



もち米やもちを笹などの葉で包んだものです。病気や悪いことを追い払う力があるといわれ、端午の節句に食べるものとして中国から伝わりました。





柏の木の葉は新しい芽が出るまで古い葉が落ちないとされます。「跡継ぎがいなくならない」と、縁起のよいものとして、その葉で包んだおもちを子どもの成長を祝うこの日に食べるようになりました。

💠 よもぎ



よもぎは昔から悪い 気を払うために用いら れました。とくに「もち ぐさ」ともよばれる若芽 にはさわやかな香りが あり、春先の和菓子やも ちの生地によく入れて 使われます。

💠 しょうぶ



名前が武勇を意味する「尚武」や、「勝負」にも 通じ、強い香りが厄払い にもなると、飾りに用い られたり、束ねてお風呂 に入れて「しょうぶ湯」と して楽しんだりします。

Point

規則正しい生活

重要なポイントを確認しましょう!



生活リズムをととのえる 早起き・早寝・朝ごはん

子どもたちの健やかな成長のためには、規則正しい生活習慣が必要です。この生活習慣が乱れると、学習 意欲や体力、気力の低下などにつながると指摘されています。

早寝

早起き、早寝、そして朝ごはんの習慣をしっかりと身につけましょう。

早起き



朝の光を感じると覚醒を

促す脳内物質のセロトニン

が分泌され、日中に活動し

やすくなります。



睡眠は、疲れを取ったり、 体を成長させたりします。 夜は早く寝て十分な睡眠を とりましょう。

朝ごはん





…… 朝ごはんの効果









朝ごはんを食べることでエネルギーや栄養素が補給され、五感も刺激されて、体や脳が目覚めます。そして、寝ている間に低下した体温を上昇させます。また、よくかんで食べることで、脳に刺激を与えて脳の働きが活発になるほか、胃に食べ物が送り込まれると腸が動き始めて、朝の排便を促します。